

達人 Professional vol.38

2025年8月

Contents

巻頭言 Jiaikai Transformationを
目指して
特集 認知症カフェ新機軸
悪石島派遣 災害支援ナース活動報告
医療DX最前線 DX TIMES/経マネ掲示板
第5回慈愛会学会学術集会 審査結果
表彰おめでとう/慈愛会NEWS&TOPICS
慈愛会のプロフェッショナルたち
私とフィロソフィ/在宅医療リレーエッセー
人事情報

JX 2025

第5回 慈愛会学会学術集会



▶ 審査結果は P6 へ



巻頭言

Jiaikai Transformation を目指して

公益財団法人慈愛会 理事長 今村 英仁

今回の参議院選挙では慈愛会スタッフの皆さんに国政にもしっかりと目を向けていただくために、勤務時間内に期日前投票を行えるように致しました。多くのスタッフの皆さんに公民権の行使をしっかりと果たしてもらいました。

今までは、目の前の患者さん・ご利用者に安全で質の高いサービスを提供していれば、しっかりと国（政府）は我々医療スタッフの面倒を見てくれると信じて、国政とは一線を画して事業を行ってきました。それが錯覚であったことを悟ったのが、日本医師会で仕事をするようになってからです。

一言で言うと、黙っていては国（政府）は我々の面倒を全く見てくれません。

そして、今回の選挙を振り返ると、国民のイデオロギーが変化し、時代の変わり目が訪れたことが明確になったと考えます。

日本の社会保障の世界、特に医療・介護・福祉の世界では、次の2つのことが起こります。

1点目は、真面目に仕事をしていても患者さん・ご利用者が集まらない病院・施設は無くなります。年報の作成、慈愛会学会活動、そして、慈愛会学会誌の刊行等は、いずれもこれからバタバタと病院や施設が潰れる中で慈愛会が勝ち抜くための大事な活動です。地道に歴史と症例数を増やしていくこと、そしてその成果を見える化することが大事です。当法人は、発表・発信する方だけでなく、スタッフ全員がさらなるレベルアップを図れるように教育に力を入れていきます。

2点目は、国民皆保険制度・介護保険制度の社会保障制度だけに頼ることができない時代の到来です。これらの公定価格が以前のように物価・人件費に合わせて、20%・30%と上がっていく時代はもう訪れません。すなわち、目の前の患者さん・ご利用者のために医療・

介護・福祉を提供していれば国が面倒を見てくれる時代が終わったということです。これから医療人は、自分の生活は自分で守らなければならないのです。

それでは我々慈愛会の医療スタッフはどうすれば良いのでしょうか？

まず、今までのように医療の勉強だけでは自分の生活を守れないことを認識しなければなりません。勿論、慈愛会学会を含めてさらに、サービスレベルを上げることは必要条件です。今まではこれだけで必要十分条件だったのがそうでなくなったということです。十分条件として、自分たちがサービスを提供している基盤のことも熟知する必要があります。その基盤が医療・介護・福祉制度であり、その基盤を作成するのが医療政策です。この基盤は、国民皆保険制度である日本では、自分たちで勝手に決めたり、変更したりできません。この基盤は国民の代表となる国会が決めます。このことを考えると、これからは、慈愛会スタッフ全員がお一人お一人「経営者としても医療提供をできる力を持つ」ことが求められます。慈愛会はそのための組織強化・開発を図っていきます。今回の慈愛会学会のテーマである **Jiaikai Transformation** はまさに今、当法人に必要な行動です。わたしは、医療 DX = 慈愛会組織開発と捉えています。そしてこのことを学会のシンポジウムでも的確に指摘してくれました。慈愛会スタッフ全員で“医療 DX = 慈愛会組織開発”に取り組みましょう。

この中で、理事長の役割は慈愛会スタッフ全員が誰1人取り残されることなくこの作業を行えるようにすることであり、それは可能と考えています。今までも慈愛会の先人達が同じようにやり遂げてきたからです。大事なことは、今まで同様、あすなろの精神と亀の一步で、決して諦めずにみんなと一緒に努力を続けていくことです。

どうか宜しくお願いします。

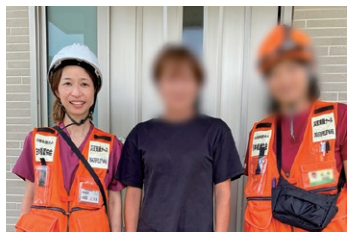
悪石島派遣 災害支援ナース活動報告

群発地震に見舞われる鹿児島県十島村悪石島に、慈愛会から相次ぎ災害支援ナースが派遣されました。県と各病院間の協定¹⁾に基づく県からの要請に応じたものです。帰任した2人に活動を振り返っていただきます。

1)「鹿児島県における災害支援ナースの派遣に関する協定」 ※慈愛会の災害支援ナース登録者数:32人(2025年7月現在)

今村総合病院 野間 こづえ 看護師 (7/7-13)

5年前に災害支援ナースに登録し、いつか被災地で役に立ちたいと思っていました。今回の派遣目的は、島の常勤看護師の負担軽減と島民の精神的ケア。鹿児島市立病院の看護師と2人で現地に入り、健康観察や心のケアに尽力しました。常勤看護師の休息時間確保にもなれば、と思い、島民が気軽に集える「カフェ」をコミュニティセンター内に開設。地震以外の話題で会話が広がり、少しでも気分転換につながったなら嬉しく思います。震度4の揺れが繰り返される中での活動でしたが、島の皆さんの温かさに支えられました。離任の日、たくさんのお見送りを受け、港を離れる船上で手を振りながら涙があふれました。今回の活動を通し、災害派遣時に携行する資機材の常備など、自己完結型の備えが迅速な対応につながることを実感。さらに、支援とは、技術だけでなく“心を通わせることが大切”と身に染みて感じました。



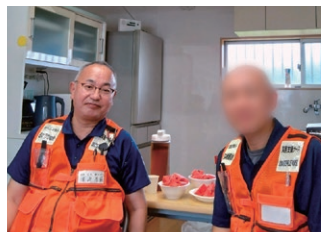
同行した看護師と島民の方とともに



差し入れをくださる島民の方も感激しました

谷山病院 濱崎 厚範 看護師 (7/21-27)

2016年に熊本で災害支援に従事した際と異なり、今回の悪石島では大きな被害はなかったものの、震度6弱を含む群発地震が2000回を超え、島民の不安は非常に強い状況でした。現地では診療所支援が主な役割でしたが、医師の巡回日が限られていたため、島民の不安や悩みに寄り添う場として「カフェ」の運営を主として活動しました。気分転換を含めて企画・開催した「夏のお楽しみ会」ではスイカ割りなど行い、子どもから大人まで笑顔あふれる時間となりました。島民との信頼関係も深めることができ、支援の意義を改めて実感しました。活動を支えてくれた谷山病院、慈愛会に感謝しつつ、地震が収まり日常が戻ることを願っています。悪石島は、盆行事に登場する仮面神「ボゼ」で知られ、赤土を塗って悪霊を払い無病息災を祈る風習があり、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。地震が落ち着いた際には、日本最後の秘境と呼ばれる吐噶喇列島をぜひ訪れてみてください。



バディとなった災害支援ナースと



お楽しみ会の一コマ。災害支援車両の体験コーナー

医療DX最前線

DX TIMES 2025.08

Reported by Imamura general hospital

～働き方が変われば医療はもっと届く～

採用プロセスのオンライン化

現在、今村総合病院では採用手続きのオンライン化を進めています。

見学申し込み、説明会参加、応募、面接予約といった一連のプロセスが、スマートフォンから簡単に完結できるようになることを目指しています。

応募者の入力情報は情報管理ツール『kintone』内に自動で登録され、採用担当者はそこから進捗管理や連絡調整を行える仕組みです。9月からリハビリ部での試験運用を行い、その後全院全体に拡大していく予定です。

この取り組みは、応募者の利便性向上と採用担当者の業務効率化を同時に実現するだけでなく、将来的には人材情報の一元化による人材管理の高度化(採用から配属・育成・評価までを一貫して支える、職員情報の活用体制)も視野に入れています。

脳ドック Web 予約

2025年4月から開始した脳ドック。8月からWeb予約が可能になります。

これまでは電話受付のみでしたが、スマートフォンやパソコンから24時間予約できるようになり、カレンダー形式で空き枠を見ながら日時を選べます。予約完了後は確認メールが自動送信されるなど、受診者にとっても利便性の高い仕組みです。

これまでのシステムや業務フローを見直し、組織を横断してつなぐ力が、医療の可能性を広げます。現場の声を起点に、今村総合病院のDXは最適な形を探りながら進めています。最前線の取り組みをシリーズで紹介します。

求職者

問い合わせ
見学・説明会申し込み
応募 面接予約

Web入力

採用担当者

情報管理 PDF出力
進捗管理 調整・連絡

Data集約

各kintoneアプリに登録

Web予約は
こちらから



経マネ 掲示板

vol
1

「みんなでよりよい法人をつくる」ために — 経営マネジメント推進室ができました

経営マネジメント推進室ってなに？

2025年4月、法人事業本部に「経営マネジメント推進室」という新しいチームができました。これは、同年1月に今村理事長が述べた「法人全体で横のつながりを強くしていこう」という考えをもとに生まれたものです。法人や病院には、看護部や事務部門などたくさんの部署があります。そして、各部署は日々の業務に集中するなかで、自分のところを優先する部分最適な考え方になってしまうこともあります。

そこで、このチームでは、法人全体を広い目で見て「どこをどうすればもっとよくなるか」を全体最適の視点で考え、みんなにわかりやすく伝えたり、改善のアイデアを出したりしています。そして何より、考えたことはできるだけ早く行動に移す、そんな「スピード感」も大切にしています。

どんなことをしているの？

このチームには11人が所属していて、毎週1回話し合いをしています。話し合った内容は毎週、今村理事長にも報告しながら、方向性をすり合わせています。これまでに話し合ったテーマは25項目以上あり、「どこから取りかかるか」の優先順位をつけて、スピーディーに進めています。たとえば、次のような取り組みを行っています。①医療や介護の質を保ちながら、使うお金をなるべく抑えて、各施設が黒字になるように工夫すること、②今村総合病院と、いづろ今村病院の急性期グループの間に、患者さんの紹介や連携がもっとスムーズになるように、担当部門を平日Zoomでつないでやりとりしやすくすること。

こうした取り組みは、実際に現場で働いている皆様のご協力があってこそ進められるものです。法人グループ全体がよりよくなるように、みんなで力を合わせていきたいと考えています。



経営マネジメント推進室

本 部 帆北修一理事長補佐(室長)、原伸二総務人事部長、有島尚亮顧問、内田良慶経営企画室長、
吉原章子看護部支援室長、高野正樹課長(本稿筆者)、福留亮課長、野添幸輔主任、黒瀬寛主任

今村総合病院 常盤光弘院長(兼務)、佐々木大輔事務長補佐(兼務)

(2025.8.1現在)

「チームの力」をもっと高めるために

このように、いろいろな改善を進めるなかで、「チームワーク」や「仲間とのつながり」を深めることがとても大切です。そこで今回で紹介するのが、今村総合病院で始まった「SECI(セキ)モデルを使ったチームづくり研修」です。これは、「どんな病院にしたいか」を職場のみんなで話し合いながら、一緒に考えていく新しいタイプの研修です。

詳しくは次でご紹介します！

取り組み事例

みんなで考える！今村総合病院の未来づくり ー SECI(セキ)モデルを使ったチームづくり研修

この研修について

今村総合病院では、職員同士のチームワークや、職場への愛着をもっと深めることを目指して、新しいタイプの研修が始まりました。いろいろな職種のメンバー（看護師、リハビリ部のスタッフ、事務職など）が小さなグループをつくり、話し合いながら、お互いの考えや感じていることを伝え合う内容です。この研修は、特定社会保険労務士とのつながりをきっかけに始まり、(株)キャリアスカイと国立(クニタチ)人事という会社がサポートしています。今村総合病院からは10名のスタッフが参加しています。

第1回の様子と参加者の声

この研修は、全部で6回行う予定です。1回目は本年5月に実施されました。テーマは「創り出したい未来の社会像と私たちの役割」。まずは病院の「歴史」「大切にしている考え方」「強み」などに目を向けながら、「今村総合病院らしさって何だろう？」をみんなで考えました。続いて、「これからの社会がどう変わっていくか」「そんな社会の中で、私たちはどんな役目を果たしていきたいか」をテーマに、職種をこえて自由に意見を出し合いました。

この活動を通して学ぼうとしているのは次のような考え方です。「困ったときに、安心して相談できる仲間がいること」「自分の仕事に意味を感じられること」「まわりに良い影響を与えている実感をもてること」。参加者からは「最初はどうか心配だったけど、やってみたら次が楽しみになった」といった感想も寄せられています。

SECI(セキ)モデルってなに？

SECIモデルは、日本で考え出された“新しい知恵を生み出す方法”のことです。人は、自分の中にある「なんとなく感じていること」や「経験からわかったこと」(＝暗黙知)を、言葉や図などで説明できる「はっきりした知識」(＝形式知)に変えていきます。そして、その知識をまた仲間と共有し、組み合わせたり、自分の中に取り入れたりすることで、新しい気づきや考えが生まれます。

SECIモデルでは、次の4つのステップが大事だとされています。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ① 共同化: 感じたことを直接伝え合う | ② 表出化: 思いを言葉や図で表す |
| ③ 連結化: いろいろな知識を組み合わせる | ④ 内面化: 学んだことを自分の力にする |

これをくり返すことで、職場の中に“知恵のぐるぐる”が生まれていくのです。

なぜこのモデルを使うのか？

SECIモデルは、ただ知識を伝え合うだけでなく、「自分の仕事って何のためにあるの？」「他の人とどう関わってみたい？」といったことを、みんなで考えるきっかけをつくります。職種をこえて話し合うことで、自分の仕事の意味に気づいたり、ほかの職種の人への理解が深まったりします。それが、「ここで働けてよかったな」「この仲間と一緒にがんばりたいな」と思える気持ちにつながっていく。そんな期待が、この取り組みの背景にはあります。

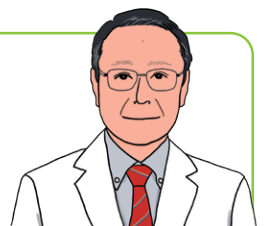
これからも、研修の様子を見守りながら、どんな効果があるのか、どんな工夫ができるのかを考えていきたいと思っています。

SECI モデルを使ったチームづくり研修に期待すること

我々の病院は、専門的“知識”に裏付けられた技術を高めながら世に貢献するテクノロジストと網羅的“知識”を駆使するマネジメント職で構成されています。いま、病院が進化・深化を遂げるためには、これらの多職種が協働することが必須です。協働する個々人やチームが

今村総合病院 院長 常盤 光弘

どのような知識・知恵に基づき、何を考え貢献してくれているのか。お互いを知るために対話を重ね“良き混ざり合い”を作り上げ、創造性豊かな組織になるためにこれからの学びを生かしていただければと願っています。



第5回慈愛会学会学術集会 審査結果

慈愛会学会



【最優秀賞】

□演発表

能登半島地震支援活動報告～看護師として何が出来たのか～
今村総合病院 看護師 平川 あゆみ

ポスター発表

標準的問診票の生活習慣項目からみる当センターにおけるメタボリックシンドローム該当者の特徴
いづろ今村病院 保健師 角 浩美

【優秀賞】

□演発表

ファンを増やす病院広報の在り方
～クラウドファンディングでみるファンづくり～
今村総合病院 事務職員 粟ヶ窪 みゆき
終末期訪問リハビリテーションの必要性
高麗町クリニック 理学療法士 西村 允宏
愛の浜園と私～施設50年のあゆみと共生社会について考える～
社福慈愛会 障害者支援施設 愛の浜園 生活支援員 屋園 ゆき

ポスター発表

前処置用スティックを使用した経鼻内視鏡検査前処置方法変更後の現状～人間ドック受検者の増加を目指して～
いづろ今村病院 看護師 山下 志緒莉
褥瘡対策の指導者育成に向けたポジショニング研修の取り組みについて～研修後アンケートの意見をを通して～
今村総合病院 理学療法士 本田 恵祐
多職種連携による退院支援の構築～入院時カンファレンスを導入して～
奄美病院 看護師 川畑 富士美
腰痛調査アンケートからみた徳之島病院の現状
～慈愛会ノーリフティングケア推進プロジェクト～
徳之島病院 作業療法士 真喜志 元希
ご利用者の笑顔を引き出すために
～不適切ケアからご利用者の尊厳を守る～
社福慈愛会 サービス付き高齢者向け住宅 架け橋 介護福祉士 根本原 拓郎

【今村節子賞】

□演発表

LAIエキスパートナースの院外育成
～谷山病院の院内ライセンスを奄美病院へ～
谷山病院 看護師 内田 宏貴

【特別賞】

ポスター発表

本校における学年交流技術演習の実践報告
～学年の学びの差に焦点をあてて～
鹿児島中央看護専門学校 専任教員 飯田 かずよ

【奨励賞】

□演発表

禁煙：やめられた人・やめられなかった人・やめる気がない人
～禁煙指導のための予備的研究～
いづろ今村病院 医師 内田 久美子
慈愛会ノーリフティングケア推進プロジェクト全体活動報告
～腰痛の無い職場環境の実現で人材不足に立ち向かう～
いづろ今村病院 理学療法士 土井 敦
地域医療構想による診療報酬の変化
～地域包括医療病棟入院料分析～
いづろ今村病院 事務職員 宮原 健太
基礎看護学実習での指導者の関わりによる看護学生の学びの変化
～WEBアンケート活用による迅速な実習環境の整備～
今村総合病院 看護師 油木 貴子
認知症支援の啓発“しまろバ隊”で鹿児島をオレンジに染める①
～SNSやオンラインツールで離島の距離的ハンデを強みに変えて～
奄美病院 精神保健福祉士 西牟田 智子
園内研修を通じた人材育成とチーム力～保育の質の向上へ～
社福慈愛会 幼保連携型認定こども園おひさまこども園 保育教諭 若松 幸夏
ポスター発表
加算平均心電図検査の導入による成果
いづろ今村病院 臨床検査技師 白田 歩実
今すぐ出来るコスト削減(第2報)
いづろ今村病院 事務職員 森 太一
介護福祉士・ナースエイドとの協働体制の構築に向けて
今村総合病院 看護師 中村 貴子
ノーリフティングケア導入に向けた取り組み
～精神科病院における現状と課題～
谷山病院 作業療法士 迎 雄作
重度知的障害の子を持つ母からのSOSに対応した事例報告
～既存の障害福祉サービスでは支援が困難だった事例から、
地域に必要な社会資源について考察する～
地域活動支援センターひだまり 精神保健福祉士 島 由紀子

表彰おめでとうございます

いづろ今村病院看護部に感謝状

第104回公益社団法人鹿児島県放射線技師会定時総会・春季学術大会(2025/6/8)において、鹿児島県診療放射線技師会大迫俊一会長より、いづろ今村病院看護師を代表して上原奈津美看護部長に感謝状が授与されました。研修への講師派遣に対する感謝状です。診療放射線技師の業務拡大のひとつに造影剤投与目的の静脈路確保があり、静脈路確保を行うためには日本放射線技師会主催の告示研修の受講が必須です。いづろ今村病院看護部は、これまで鹿児島県内で行われた11回全ての告示研修に、講師として看護師を派遣しています。安全に静脈路確保ができるよう、研修講師として尽力してきたことを称えられ、感謝状が授与されました。



第6回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 選考結果

最優秀賞

小湊 久留実(谷山病院 看護師)
「仲間がいてくれることの安堵感
～車椅子拘束をされたA氏との関わりを通して～」

優秀賞

山之内 孝博(谷山病院 公認心理師)
「濡れた靴」
梶野 恵美子(鹿児島中央看護専門学校 看護師/専任教員)
「学生に学ぶ『共感力』」

入選

西 洋樹(いづろ今村病院 理学療法士)	「もうだいじょうぶ」
内田 紗弥(いづろ今村病院 管理栄養士)	「最期の希望～慈愛に包まれて～」
西 遥華(今村総合病院 理学療法士)	「別れを惜しむ、惜しまれる～良い療法士とは何か～」
迫田 彩夏(今村総合病院 理学療法士)	「四十分の時間の中で」
柳 楓花(谷山病院 看護師)	「人対人の関わりの可能性～A氏との関わりを通して学んだこと～」
阿久根 伽寿(谷山病院 看護師)	「もう一度」
内田 さとみ(谷山病院 看護師)	「あたいがといあげっから～元助産婦さんの優しい手～」
村井 真由美(老健愛と結の街 作業療法士)	「ONE PIECEの麦わら帽子」
牧迫 久美子(居宅愛と結の街 介護支援専門員)	「息子への思い～最後まで母親として～」
梶野 恵美子(鹿児島中央看護専門学校 看護師/専任教員)	「清潔ケアは看護の最高のスキル」



《2025年度 永年勤続表彰》

(省略)

今村総合病院・伊集院産婦人科における出産時の特典 ご案内

今村総合病院および、慈愛会と人事交流を行っている伊集院産婦人科（鹿児島市）では、慈愛会職員・その配偶者・家族 / 親族（3 親等以内）を対象に、出産時の「お祝い金」を支給しています。

当法人の出産祝い金制度および各施設における出産時の特典内容をご案内します。

■ 慈愛会からの出産祝い金（法人共通）

【対象】 慈愛会職員本人およびその配偶者

区分	本人が出産	妻が出産
正職員・嘱託職員	30,000 円	10,000 円
パート職員	15,000 円	5,000 円



■ 各施設における出産時の特典

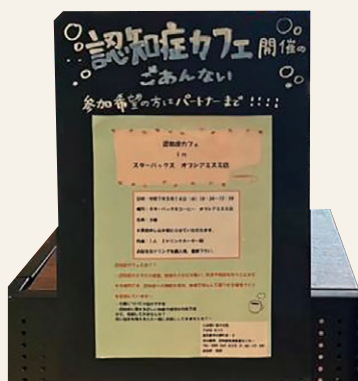
施設名	今村総合病院（産婦人科）	伊集院産婦人科
所在地	鹿児島市鴨池新町 11-23	鹿児島市池之上町 9-27
特典の対象	慈愛会職員・親族（3 親等以内）	同左
特典内容	●慈愛会職員本人または、その妻が出産 法人祝い金に加え、50,000 円を支給 ●上記以外で慈愛会職員の 3 親等以内の方が出産 50,000 円を支給 	●慈愛会職員本人または、その妻が出産 法人祝い金に加え、20,000 円を支給 ●上記以外で慈愛会職員の 3 親等以内の方が出産 20,000 円を支給 

ご自身や家族の大切なライフイベントを安心して迎えていただけるよう、今後もサポート体制の充実に努めます。今回ご紹介の特典についてご不明な点等ございましたら、法人事業本部経営マネジメント推進室 福留（内線 5280）までお問い合わせください。

特集 認知症カフェ新機軸

9

スターバックスで認知症カフェ!? 地域とつながる「対話の場」の新しいかたち



店頭に掲示された開催案内

「認知症カフェ」と聞くと、施設の一室や地域の集会所で開かれるイメージがあるかもしれません。そんな中、鹿児島市に誕生したのは、スターバックス店舗を会場にした新たな試み。認知症の本人や家族、地域の方たちが、気軽に足を運び、安心しておしゃべりできる“対話の場”を目指してスタートしました。運営に携わる医療・介護の専門職たちに、取り組みの背景や思いを語っていただきます。

——これまでの認知症カフェの取り組みについて教えてください。

森 : 愛と結の街グループでは平成22年に「あしたの風カフェ」を始めました。毎月開催していましたが、年々新規の方が減り毎度同じ顔ぶれに。運営の人員確保も課題でした。コロナ禍で3~4年中止となった間、見直しを考え続けていました。

別府 : 当センターの「あいカフェ」は平成28年ごろスタート、年3-4回の開催でした。地域向けのイベント要素が強く、コロナ後の再開にあたっては、「認知症の本人や家族が安心して話せる場」づくりを最優先としました。ちょうど、隣りの愛と結の街でもカフェの見直しを考え中と聞き、慈愛会同士、一体化しようと話し合い、昨年5月に「あいゆいカフェ」として再出発しました。



谷山病院認知症疾患医療センター
精神保健福祉士
別府 千尋さん



認知症対応型サービスセンターあしたの風
管理者 介護福祉士
森 愛さん

——リアルなカフェとの連携はどう始まったのですか？

別府 : 鹿児島市認知症カフェ交流会で今年2月、スターバックスコーヒージャパン(以下「スタバ」)の社員さんと出会ったのがきっかけです。「スタバで認知症カフェ!? おしゃれ!」それが最初の印象でした。あいゆいカフェを今後どうするか煮詰まっていたこともあり、思い切って共同開催を相談しました。鹿児島OPSIAミスマ店の店長さんと話す中で、同店は高齢のお客様が多いこと、介護経験のあるスタッフもいること、地域貢献について検討中であることなどお聞きしました。

森 : スタバの「だれでも知っている、入りやすい雰囲気」は、私たちが目指す認知症カフェにぴったりだと思いました。「スタバでお茶する」感覚で気軽に来てもらえる。施設や病院に出向くより、心理的なハードルがぐっと下がりますよね。

別府 : 「認知症の本人や家族とゆっくり話したい」というコンセプトもご理解いただき、同店とコラボレーションすることに。5月から毎月開催しています。

——実際の開催で印象に残っているエピソードはありますか？

森：あしたの風の利用者の家族が参加された時のことです。普段の仕事の中ではなかなか時間を取ってじっくりと話せないのですが、カフェで落ち着いてゆっくりお話ができ、「こういう場があると本当にありがたいです」と感謝されました。認知症の本人だけでなく、家族にとっても“心を開ける対話の場”が必要なのだと再認識しました。

別府：「家族が認知症かもしれない」と打ち明けてくださった方がいらっしゃいました。家族内でも気を使うし、友人にも話しぶい。店頭の案内を見て参加を決めたそうです。最後に「今日話せてよかったです」とホッとした笑顔を見せてくださいました。スタバという空間で、私たちが話し相手としてそこにいること、その価値を見出した一例でした。



第1回の開催の様子

——「専門職らしさ」を控える工夫もされていると伺いました。

別府：そうですね、専門職としての関わりを前面に出すのではなく、気負わず、友達のように自然な会話が生まれるように、と思っています。実際、参加者との会話を通して、専門的な情報提供やアドバイスより、求められているのは「話を聞いてもらうこと」なのだと実感します。

中馬：ケアする場とは違う、対話の場、であることを大切にしたい。「ここなら話せる」と思ってもらえる空気づくりを意識しています。

——今後の展望をお聞かせください。

森：確定診断を受けた方だけでなく、認知症に不安を感じる方々を、できるだけ早い段階から支えることも大事。地域のどなたでも気軽に立ち寄れるカフェ形式は有効だと思います。さらに工夫を重ねたいと思います。

中馬：認知症は特別なことではなく、日常の一部として受け入れられる社会が理想です。地域に根差した自然な支援の場として、認知症カフェを続けていきたいです。

別府：受診や介護サービスに繋がったときには既に認知症が進行して、ご本人の意思を確認することが難しい、という状況が多くあります。認知症基本法の理念にある「共生社会」の実現には、早い段階から本人が自分の思いを語れる場が必要です。単に知識や情報を得る場所ではなく、「安心して話せる場所」としても認知症カフェが広がっていくといいなと思います。



グループホーム愛と結の街
管理者 介護福祉士
中馬 健一さん



(左から) 森さん、中馬さん、別府さん、鹿児島 OPSIA ミスミ店の店長さん

Follow Us!
谷山病院公式
Instagram



告知

県政広報番組で谷山病院認知症疾患医療センターの活動が紹介されます！

KTS鹿児島テレビ「河内あづきの鹿児島あっちこっち」
9/6(土) 17:20-17:25

タイトル(予定)

認知症のイメージを
変える！
「新しい認知症観」

放映後もこちらで
視聴できます！



鹿児島県
県政広報テレビ番組

奄美病院より

地域での自立支えます グループホームゆいはま開所

奄美病院グループの介護サービス包括型共同生活援助事業所「グループホームゆいはま」(定員10名)が2025年6月1日、奄美市名瀬浜里町の複合施設・結浜ビル内にオープンしました。昼夜を問わず安全安心に過ごせる環境を提供するため、宿直体制を導入したのが特徴です。将来的には地域で自立した生活を送っていただけるよう、利用者一人ひとりに寄り添い、ステップアップをサポートしていきます。

6月3日に行われた開所式では、碩弘一朗管理者が「ウェルビーイングを感じられるような支援をしていきたい」とあいさつ。スタッフも「その人らしい生活が送れるよう全力でサポートしたい」「安心して暮らせるグループホームにしたい」「利用者様が楽しいと思ってくれるような支援を」と、意欲的に語りました。

ゆいはまが入居する結浜ビルは、鉄筋コンクリート造4階建てで今年4月に落成しました。1階は社会福祉法人慈愛会 愛の浜園の「グループホーム フレンド3」(定員6名)、2・3階が「グループホームゆいはま」、4階が奄美病院の賃貸住宅「ゆいはまアパート」(ワンルーム12室)です。結浜ビルが地域住民の暮らしを多角的に支える拠点になるよう、職員一同努めて参ります。



リビングで朝の健康チェック。皆で自由に語らいながら食事できるよう、リビングは広いスペースを確保



3階居室は、トイレや洗面台、クローゼット、エアコンを完備



結浜ビル

徳之島病院より

鹿児島大学看護学生 初の実習受け入れ

この7月、徳之島病院としては初めてとなる看護学生実習受け入れを開始し、鹿児島大学医学部保健学科より5名の学生に来ていただきました。学生さんには離島ならではの医療、看護、地域性など様々なことを学んでいただきました。離島での看護経験は他では経験できない特別なものです。離島ならではの資源不足やマンパワー問題、離島だからこそできることなど、今回の学びを今後の看護の道に役立ててもらえたら嬉しいです。

また、学生さんの持つエネルギーな看護への思いを聞くことができ、改めて私自身も初心を思い返す時間にもなりました。

(1病棟看護師 白山あいみ)



実習中の様子



作業療法で取り組んだカレンダー作品とともに

真面目に楽しく体験学習

徳之島町では毎年5月になると亀津中学校の職場体験があり、コンビニやスーパーなどで生徒さんを見かけます。徳之島病院にも、3名の生徒さんが「看護師や作業療法士になりたい」「どんな仕事内容なのか知りたい」と希望して体験に来てくださいました。病院内の各部署をめぐり、興味のある分野以外の部署でも熱心に話を聞いて、真面目に楽しそうに体験学習していました。

リネン部では「クリーニング師は国家資格だ」という話を興味深そうに聞き、真剣な表情でアイロンがけに取り組んでくれました。3日間、病院内のさまざまな仕事に関心を寄せてくださった生徒さんたち。今回の職場体験が何かの役に立つことがあると嬉しいです。

(リネン室 内田千恵美)



アドバイスを受けながらアイロンがけを体験



真剣な表情で体験学習に取り組んでいました

今村総合病院より

ポップアップストア運営中 ～医療の現場に食の楽しみを！～

2025年4月より職員が食を楽しむ場として、また、患者様やそのご家族の方々に快適にお過ごしいたけたいための取り組みとして、病院内で飲食店によるポップアップストアを運営中!「病院の中でおいしいランチが食べられる」そんなちょっとした「楽しみ」が、日々のモチベーションになることを願っています。



ポップアップストア

今村総合病院より 地域と病院がつながる学びの場「つながる時間」始動！

鴨池校区コミュニティ協議会社会教育部会と今村総合病院の共催で、第1回「つながる時間」が2025年6月28日(土)に開催されました。地域住民の皆様と医療の現場をつなぎ、健康意識の向上と交流を目的としたこの取り組みは、少人数制講座としてスタート。初回は、今村総合病院 救急救命士の小濱伶斗看護師が「突然の心停止に備える！AEDの使い方と心肺蘇生方法」をテーマに、実技を交えながら講師を務めました。



講演



実技

第9回絵画コンクール作品募集中！

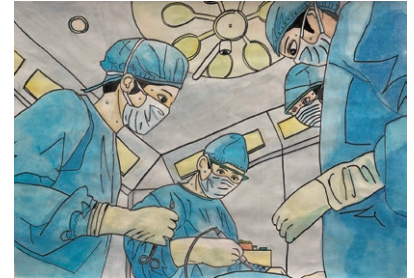
今年も「医療(病院)にまつわることをテーマに、第9回 今村総合病院 絵画コンクールの作品募集が始まりました。子どもたちの自由な発想やのびのびとした表現は、私たち大人にも元気を与えてくれます。ご応募を心よりお待ちしております！

【応募テーマ】「医療(病院)にまつわることを」「いのち」「健康」「お医者さん・看護師さん」など、医療のイメージを自由に表現してください。

【募集対象】鹿児島市・垂水市在住の小学生・中学生

【作品提出期間】2025年7月1日(火)～9月13日(土)必着

詳しくは当院ウェブサイトをご覧ください。→



第8回最優秀賞作品

「ぞうきんプロジェクト」参加施設募集のご案内

本プロジェクトは、患者様が作業療法の一環としてぞうきんを製作し、それを地域の小学校などに寄贈することで、「地域社会とのつながりを感じる」「自尊感情の向上につながる」「社会貢献への参加意識を高める」といった効果が期待される取り組みです。

この活動に賛同いただける事業所を広く募集します。作業療法や地域貢献活動の一環として、ぜひご検討いただけますと幸いです。※材料(タオル・布)は提供します。

(問い合わせ先:総務課 企画・広報 栗ヶ窪)



患者様が縫ったぞうきん

鹿児島中央看護専門学校より 2026年度入学生募集!!



鹿児島中央看護専門学校の学生募集パンフレットができました♪

看護師志望のお子さんをお持ちの皆様、キャリアチェンジを検討している社会人の方々、是非本校へのご入学をご検討ください。慈愛会で共に学び、共に働きましょう！出願時点で慈愛会に在職している職員本人、職員の親・子・きょうだいの方には入学検定料全額免除の特典もあります！

※本校は社会人経験者向けの「専門実践教育訓練給付制度」指定講座です。

願書受付期間と入学選考日程

入試区分	願書受付期間	入学選考日
推薦入試	2025年 9月25日～10月17日	2025年10月25日
一般・社会人・特別入試	2025年10月31日～11月21日	2025年11月29日

★インターネットで出願を受け付けます。

詳しくは当校ウェブサイトをご確認ください。→



オープンキャンパスを開催しました！

2025年度は6月から5回にわたりオープンキャンパスを開催しました。今年は、副校長による学校説明の後、「赤ちゃん抱っこ」や「シミュレーター」など例年どおりの体験に加え、初の試みとして「危険探査チャレンジ」と「点滴滴下チャレンジ」も実施しました。初めて触れる医療器具に緊張している様子はうかがえましたが、どのコーナーでも笑顔が見られ、楽しく体験していただけたようです。終了後のアンケートでも、「学校の説明をきけて雰囲気がよくわかった」、「在校生や教員との交流ができてよかった」、「体験をしてみて看護師になりたい気持ちが強くなった」との嬉しい声が多く寄せられました。

今年は例年よりも少ない人数での開催になりましたが、その分、在校生との交流時間が増え、より充実した時間を過ごしていただけたと感じています。今回の体験が、参加された皆様の「看護師」を志すきっかけになることを職員一同、心より願っております。



シミュレーター フィジコ体験



赤ちゃんモデルをそっと抱っこ



どこが問題?..危険箇所をチェック



点滴滴下チャレンジ

鹿児島中央看護専門学校より

初の留学生を受け入れて

2025年度、ベトナム出身の留学生1名が本校に入学しました。少子化や国際化の大きな流れの中で2024年4月より留学生を受け入れる準備を始めました。専門用語の理解や言語的なスキル、異文化の理解など多くの課題と向き合いながら進めてきました。入学した学生は、日本にきて4年目。介護福祉士の試験に合格したばかりで、看護師になりたい思いがとても強く、そして明るい学生です。先日、クラスメイトにベトナムのプレゼンをしてくれました。クラスメイトたちは、文化の違いや彼女の母国への思いを理解し、日本語で学んでいる苦しさやそこにある努力を知り、一緒に頑張っていきたいとの思いを持たれました。今後さらに専門的学習が増え、臨地実習も入ってきます。課題を一つ一つクリアしながら看護師への道を支援していきたいと思っています。

(副校長 櫻美 尚美)



学習風景(右端が留学生)



新聞取材を受けました
(南日本新聞5/7付と5/12付に
記事掲載)

同窓会「やよい会」10年ぶりに総会開催

鹿児島中央看護専門学校同窓会「やよい会」の第5回総会を2025年6月28日に開催しました。総会の開催は10年ぶりです。会の冒頭、4月に逝去された恩師 今村節子先生のご功績紹介があり、改めて先生の教え子であることに感動と誇りを覚える中、懇親会が幕を開けました。実に20歳代から70歳代までの同窓生たちが母校を偲び、懐かしい恩師、級友との再会に乾杯のあとも感動の波がおさまらず、司会者が何回も着席のお願いをするほどでした。若者勢がダンスで盛り上げ、懐かしい卒業アルバムの動画に涙し、そして校歌斉唱、5年後の再会を誓って閉会しました。

やよい会は「会員相互の親睦を図り母校の発展の推進力となる」ことを目的に、これからも活動を続けてまいります。

(やよい会会長 今村総合病院 松山 郁子)



総会



19期生による余興



全員で記念撮影

今村節子先生のご功績を偲んで



鹿児島中央看護専門学校 第3代校長 今村節子先生(第49回フローレンス・ナイチンゲール記章 受章)は2025年4月6日、満100歳で永眠されました。多方面で功績を残された節子先生を追悼し、公益財団法人慈愛会と社会福祉法人慈愛会、節子先生が生前設立した公益社団法人教育・ヘルスケア振興節英会の3法人は合同で、6月29日に「今村節子を偲ぶ会」を鹿児島サンロイヤルホテルで執り行いました。

式典では、節子先生の一生をたどるプレゼンテーションに続き、ゆかりの深かった3名の方々(東京大学医学部衛生看護学科助手時代の同僚で親友の山川純先生<日本女子体育大学名誉教授>、母校の後輩で聖路加国際大学元教授の渡部尚子先生、鹿児島中央看護専門学校 前校長の富安恵子先生)が弔辞を述べられました。看護学の追究に真摯に取り組んだ姿、教え子たちに与えた多大な影響、友人知人との交流など、幾多のエピソードに、目頭を押さえながら聴き入る参加者の姿も見られました。

主催者を代表し、今村英仁理事長は「100歳と3カ月、実に母らしい大往生でした。母と一緒に、母の私財を投じて、看護・保健を主とする公益法人(節英会)を設立し、母の代わりに私が理事長を務めています。将来は看護・保健の代表の方に務めていただき、母の志を継いで看護・保健の世界で活躍される方がたくさん現れますように、と願っております。偲ぶ会にご参加の皆さまがこれからも母の壮大な目標を支え、ご指導くださいますようお願い申し上げます」と御礼の言葉を述べました。式典に続く献花の儀では、350名ほどの皆さまが花を手向けて合掌し、在りし日の今村節子先生に思いを馳せていました。



御礼の言葉を述べる今村理事長



献花し祭壇に手を合わせる参加者の方々



年表、論文集、章記・メダルなど功績をたどる
展示に多くの方が見入っていました

節英会が展開する事業のご紹介

今村節子先生が設立した公益社団法人 教育・ヘルスケア 振興節英会は、鹿児島市鴨池の節子先生居宅跡に建設した「かもいけみらいの森」で、看護小規模多機能型居宅介護事業所（通称 看多機）や訪問看護ステーション、学童保育、えほん図書館を運営しています。“地域交流複合施設”と銘打ち、フリースペースを活用したこども食堂、多様な外部講師による各種教室が開催されており、多世代が集う地域活性化の拠点となっています。

かもいけ
みらいの森

「かもいけみらいの森」
Instagram



世界的建築家・安藤忠雄氏が設計した「かもいけみらいの森」

看護小規模多機能型居宅介護事業所 みま森

看多機とは、医療依存度の高い人や退院直後で状態が不安定な人の在宅療養、在宅での看取りを支援する介護保険サービスです。4つの機能＜訪問看護＞＜訪問介護＞＜通所介護（デイサービス）＞＜泊まり（ショートステイ）＞を有します。要介護1-5の方が利用登録すると、病状や体調、家族の意向等にに合わせて、この4つのサービスを自由に臨機応変に組み合わせて利用できるのが特色です。「小規模」と名称にあるように利用定員が抑えられ、きめ細やかな対応が可能です。慈愛会の各施設とも連携し、地域に根差したサービスとして、安心して住み慣れた地域で暮らし続けることを支援します。

登録定員:29名（一日の利用定員:18名）
泊まりの利用定員:9名）

TEL:099-204-4107



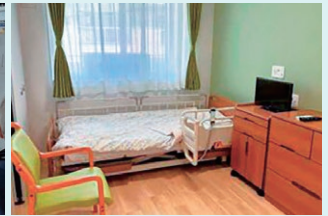
デイサービスの様子



スタッフステーション



学童保育の子どもたちと一緒に
レクリエーション



泊まりの部屋

訪問看護ステーション 節愛

対応エリア:主に中郡・荒田・八幡・鴨池の各小学校校区を対象とし、他地域も応相談
TEL:099-204-4133



この青色で統一された節愛の公用車

森の学童保育あおば

定員:24名
近隣の中郡小学校や鹿児島大学教育学部附属小学校の児童が利用中（現在満員）



夏休みの預かり時間を使って工作教室

えほん図書館



えほん図書館3階からの光景



仕掛け絵本も人気です

1-3階吹き抜け筒形の建物で、各階に設置された円状の書棚に絵本が面出し（表紙を見せる展示法）で並ぶのが特徴。絵本専門士による読み聞かせがあります。絵本に包み込まれているような空間が人気を博し、子どもから大人まで多くの利用者が思い思いの時間を過ごしています。
開館時間:9:00-17:00（水曜休館 ※祝日の場合は開館、翌平日が休館）
入館無料、予約不要、絵本は敷地内での閲覧のみ（貸し出しは行っていません）
TEL:099-254-5568

●その他「まちの保健室」「学習室」「フリースペース」のご利用方法等詳細は節英会ウェブサイトで!



毎回賑わうこども食堂



さまざまな企画で利用される
フリースペース



こども食堂で料理の腕を振るう、
かもいけみらいの森
木佐貴子施設長

節英会ウェブサイトはこちら!



<https://setsueikai.com/>

かもいけみらいの森



温泉のススメ

今村総合病院 血液内科／輸血管理室 医師 宮園 卓宜 さん

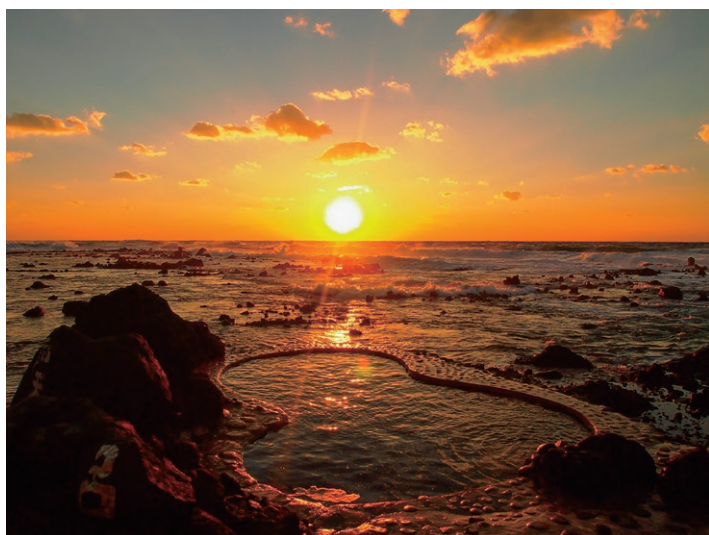


鹿児島県は、温泉源泉数第2位、温泉総湧出量第3位の温泉県です。

私が温泉の虜になったきっかけは、大学時代の旅湯でしょうか。スキー旅で、極寒の中、雪とエゾシカを眺め、葡萄パンをつまみに雪見酒しながら入った「然別峡温泉」(北海道)。雪雨の中、体が真っ赤になった温湯、現在入浴禁止となった修善寺温泉「独鈷の湯」(静岡)。東北4大祭り巡り旅で、マウンテンバイク、キャンプ、温泉三昧。中でも日本海に沈む夕日を拝める黄金色湯「不老ふ死温泉」(青森)に感動。その後、温泉の歴史、温泉分析書など温泉の魅力に魅了され、2018年「温泉ソムリエ」資格を取得。別府温泉に入りまくって、きき湯という実技試験もある「温泉マイスター」資格を取得。温泉分析書による「湯感覚」を体得、自家源泉かつ源泉100%かけ流しの濃厚な泉質を堪能、「はしご入浴(機能温泉浴)」実践、さらに温泉好きになりました。

富山にいた頃ほぼ毎年いった、春秋の高山祭、冬の酒蔵巡り、小京都高山散策旅と、「飛騨高山温泉」(岐阜)。露天湯巡りが楽しい「黒川温泉」(熊本)。鹿児島では、秘湯系「吹上温泉みどり荘」。内湯が貴重な黒湯の華、外湯が大自然の中、太陽の木漏れ日差し、きらきら光る硫黄の緑色、硫黄の香り、湯温もちょうどいい湯です。但し携帯電話圏外、事前に病棟患者の状態把握が必須。山小屋風、内湯は低温の炭酸泉と高温の硫黄泉の両方が流れ込む真ん中の湯船がお勧め、ひなびた系「霧島湯之谷山荘」。鹿児島市内伊敷の源泉かけ流し、加水なし、アルカリ単純泉、飲泉可で、ぽかぽかつるつる「大黒温泉」気に入っております。

温泉は、全身を温め、心をほぐし、肌を滑らかにしてくれる魔法のような場所です。皆さまもいろいろな温泉に入り、唯一無二の魅力を体験してみたいはいかがでしょうか。



筆者お勧めの黄金崎不老ふ死温泉



温泉マイスター認定証



私とフィロソフィ

慈愛会フィロソフィver.2 全41項目の深化に向けて



第3回

谷山病院 作業療法士 川畑 美帆子

私たちの部署では、毎週のスタッフミーティングでフィロソフィの読み合わせを行っています。ミーティング前に活用することで多職種スタッフ間のベクトルを合わせ、議題に向き合うことができるエンジンのような存在です。

些細な気づきを大切にする

私は4月から谷山病院デイケアに配属され、患者様の変化に気付けないもどかしさを感じていました。しかし日々のコミュニケーションやスタッフ間の情報共有から、徐々に私の中に生の情報が蓄積され、「いつもと違うな？」との感覚が得られてきました。またその気づきを共有し患者様への声掛けや観察から小さなサインに気付く、この連鎖で症状悪化を防げることを実感したことで、強く共感したフィロソフィです。

冊子抜粋 第16項 些細な気づきを大切にする

医療・介護の現場では患者様・利用者様を相手に治療やケアを行う中で、毎日の体調管理や様子観察は重要です。

その中で、例えば「いつもより表情が暗く元気がない」といった些細なことに関して「寝不足で疲れているだけだ」と考え、報告を怠ってしまつと後に急変や重大なインシデントが発生する可能性があります。

些細なことでもそのままにせず、必ず報告し他スタッフと共有することで、急変や重大なインシデントを防ぐことができます。また報告だけでなく、記録として文章に残しておくことも忘れずに行う必要があります。

常に視野を広く持ち、些細なことに気づき、自己解決せずに職員同士連携してあらゆる可能性を考え探っていくことでよりよい医療・介護を提供することができるのです。

在宅医療

リレーエッセー

17

在宅では何が起こるかわからない

いづろ今村病院 リハビリ室 科長代理 理学療法士 土井 敦



私は今まで慈愛会の様々な施設で在宅支援を経験させていただき、今は、いづろ今村病院の訪問リハに勤務しています。在宅の現場で一番思うのは「在宅では何が起こるかわからない」ということです。

訪問リハで多く経験するのは、病院では自立していたADLが、在宅ではできないケースです。病院のベッドやトイレでは1人で移乗できても、在宅に戻ると、手すりの有無、スペース、便座や椅子の高さ等が原因で移乗自立できないケースもよくあります。もっと細かいことを言えば布団のやわらかさや、敷布団カバーの材質の違いで、不安定感や摩擦感が強まり、動きが阻害され、起きられなくなるなど、本当にちょっとしたことで動作の自立度、安定感が変わってしまいます。

病院内、施設内でも在宅を想定した訓練を行います、なかなか全てを想定するのは難しいのが現状です。退院時ADLにおいては、同じ「自立」でも「頑張って何とかできる自立」ではなく、「ある程度余力をもってできる自立」が必要と感じます。そこを補うのは福祉用具等の環境調整です。その速効性や手軽さは抜群で、現場では支援に欠か

せないツールとなります。ですので、病院内、施設内から福祉用具を使用し、「余力を持って生活できること」を目指せたら理想的だなと思います。

在宅現場での経験は、必ず、病院内の治療やケアにも絶対に役立つと思いますので、もし機会があれば、在宅支援の現場に足を運んで、その多様さと面白さを是非体験してみてください。



訪問リハに向かう筆者(右)と松元潤言語聴覚士

(省略)

今村総合病院

第4回 かもいけ健康まつり 高校生ボランティア募集のご案内

地域の皆さまが健康について楽しく学び、つながりを深める「かもいけ健康まつり」を、今年も開催いたします。本イベントでは、慈愛会職員のご家族（高校生）を対象に、ボランティアを募集します。

◆ボランティア概要

- ・日時：2025年10月18日（土）12：30～16：30
- ・会場：今村総合病院 A棟 1階外来スペースほか
- ・内容：来場者の受付・案内など簡単な補助業務
- ・対象：慈愛会職員の子どもまたは関係者で高校生の方
- ・定員：10名（先着順）
- ・特典：ボランティア証明書を発行します

◆目的

医療・福祉の現場に触れ、将来の進路選択や地域貢献への関心を高めることを目的としています。

◆応募方法

二次元コードよりお申し込みください。⇒



イベント予告



いづろ今村病院

第2回

いづろ健康・介護まつり

2025年11月22日（土）14：00～16：00

市民公開講座、血圧・血糖・骨密度測定、ストレスチェック、健康相談、おくすり相談、栄養相談などの各ブースを計画中！ 昨年に続き、今年も名山校区コミュニティ協議会との共催です。ぜひお誘いあわせの上で来場ください！



多くの方で賑わった昨年の様子

編集後記

徳之島病院にいと、慈愛会グループの「絆」を感じる場面に多々出会います。業務とはいえ、毎週のように入れ代わり立ち代わり来てくださる当直の先生方や応援ナースの方々など、グループの皆さんに支えられて今の徳之島病院がある、と言っても過言ではありません。

おかげさまで私にも業務で困った時、電話やメールで相談できる心強い仲間ができました。（直接お会いしたことはありませんが…）海の向こうに同じ制服を着て奮闘している仲間がいると思うと、私ももう少し踏ん張れる気がします。

この冊子が慈愛会の「つながり」を感じ、今と一緒に走る「仲間との絆」を感じるツールになりますように、今後も魅力ある誌面作りに努めていきたいと思います。

徳之島病院 事務部 芳 あずさ

Professional

慈愛会報 [プロフェッショナル]

2025年8月 Vol.38

発行：公益財団法人慈愛会

編集：Professional 編集委員会

事務局：慈愛会 企画部 経営企画室



公益財団法人 慈愛会
<https://www.jiaikai.or.jp/>



慈愛会
公式Facebook